

SDGs はじめてみませんか？

Ver.1.0.0

～製紙業を例に～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1. 持続可能な開発目標（SDGs）とは？

- 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。
- 持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。
- SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

出典：外務省ウェブサイト

参考資料

- 経済産業省：「SDGs経営ガイド」
<https://www.meti.go.jp/press/2019/05/20190531003/20190531003.html>
- 環境省：「持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド」
<https://www.env.go.jp/policy/sdgs/index.html>
- 国連グローバル・コンパクト、GRI、WBCSD：「SDG Compass」
<http://ungcjn.org/sdgs/index.html>
- SDGsのロゴ
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/

2. SDGsに取り組む目的は？

- 「SDGsという世界共通の言語ができた」、「企業にとってチャンスとリスクをもたらす」等とされていますが、何からはじめていけばいいのか、何をすればいいのか、悩むことはありませんか？

何からはじめればいいのか？

国連の目標と自社の取組に
関係があるのか？

17のゴールすべてに
取り組まないといけないのか？

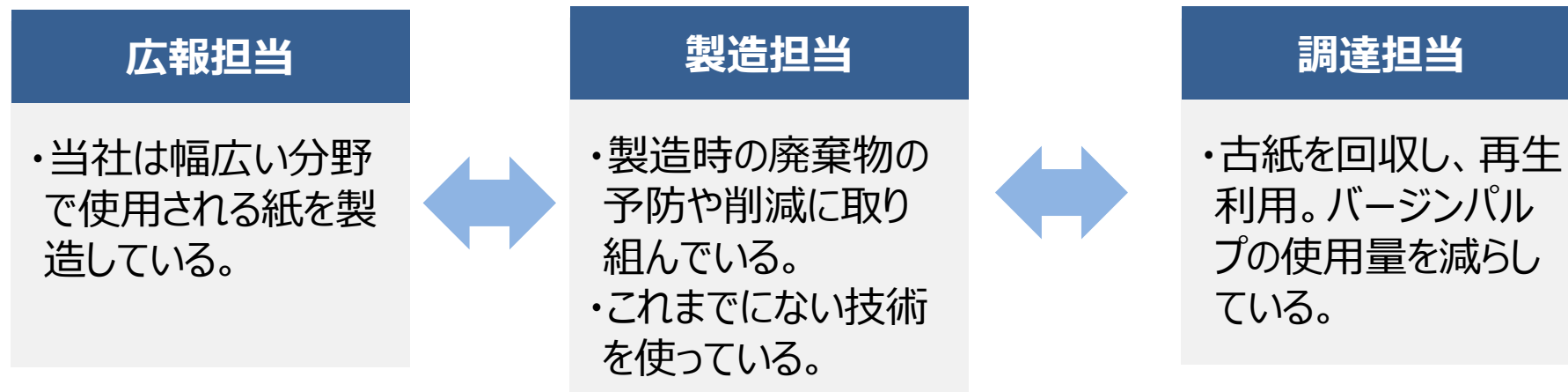
社長や社員にどうしたら
理解してもらえるのか？

何もしなくても
困らないのではないのか？



3. このようにはじめてはどうでしょうか？

- まずは自社のウェブサイトやパンフレットに掲載している製品やサービスについて、マッピングをしてみてもいいでしょうか？
- 部門をこえて話し合いながらマッピングすると新たな視点が加わるのではないのでしょうか？



- 社内検討結果をもとに、ウェブサイトやパンフレットで社外に発信してはどうでしょうか？ 1つの製品がSDGsの多数の分野で貢献していることを紹介できるのではないのでしょうか？
- 社外に発信することで、取引先や社員の家族からも、新しい視点がもらえるのではないのでしょうか？

社員の家族

- ・地域の環境問題に貢献している。
- ・働きやすい職場で働いている。

8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



地域の方

- ・森林資源を保全しながら有効に活用している。

15 陸の豊かさも
守ろう




取引先

- ・環境配慮型製品が自治体でも採用されている。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



● 自社の川上から川下までの活動を、SDGsの観点から見直してみてもうどうでしょうか？

分野	活動の内容	取り組んでいること	環境・社会への影響		目標は？
			プラスの影響	マイナス面の抑制	
調達	原材料 (木材チップ) の調達	<ul style="list-style-type: none"> ● 植林事業 ● 森林認証を取得しているチップサプライヤーとの取引 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な原材料調達を実現できる ・森林の公的機能、生態系サービスを持続的に利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の減少抑制 ・CO₂の固定化 	2030年までに排出するCO ₂ の 70% を吸収・固定する！
生産	パルプ製造で大量の水を使用 →廃液の発生	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃液を利用したバイオマス発電 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス資源の有効利用に係る技術革新への貢献 ・再生可能エネルギー利用によりCO₂削減に寄与   	<ul style="list-style-type: none"> ・水質への負荷物質の排出抑制  	2030年にはバイオマスエネルギー比率を 50%以上 に引き上げる！
廃棄	廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 設備導入により排水処理汚泥焼却灰を削減 ● 焼却灰、汚泥等の再利用 ● 再利用目的での中間処理業者の切替え 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理コストの削減 ・最終処分場の延命化 ・社会的課題の解決に向けたパートナーシップの構築  	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の発生抑制  	2030年までに産業廃棄物最終処理処分量を2013年比で 15%減 を実現する！
リサイクル	古紙、難処理古紙等の再生・有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域と協力した古紙の回収 ● 精選工程から出た廃プラスチックをRPF化 ● インキ成分等を再生填料として回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題の解決に向けたパートナーシップの構築 ・難処理古紙有効利用に係る技術開発 ・廃プラスチックの資源循環への寄与   	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の発生抑制 ・環境汚染の防止  	2030年までに難処理古紙利用量を2013年比 115% まで引き上げる！

4. SDGsに取り組む目的（期待される効果）が見えて来ましたか？

- 社内、社外、一連の事業活動など、視点を変えてみることで、SDGsとの関係が広く見えてきませんか？
- SDGsへ取り組む意義や目標、これからの取り組みなどが見えてきませんか？
- 関係者との協力、ステークホルダーとのコミュニケーションが大切だと感じませんか？
- 社員のモチベーションの向上につながりませんか？
- 新たなビジネスチャンスが見えませんか？



さあ、SDGsはじめましょう！



5. 最後に

- SDGsは、2030年までの世界の「あるべき姿」を示しています。「今できること」の延長線上に将来を予測するのではなく、将来の「あるべき姿」から逆算して、「今何をすべきか」を考える「バックカスティング思考」が必要だと言われています。
- 未来のあるべき姿も考えてみませんか？

